

緑がつなぐ街と未来

～グリーンインフラと生物多様性がひらく都市樹木の可能性～

近年、気候変動に伴う酷暑や頻発する豪雨災害への対応、ならびに都市の魅力・賑わい創出に向け、自然環境が持つ多様な機能を社会資本に活かす「グリーンインフラ」や「生物多様性」への注目が高まっています。街路樹をはじめとする都市の緑は、その取り組みの中核を担う重要なインフラです。

本研修会では、国土技術政策総合研究所における道路空間へのグリーンインフラ実装の最前線をはじめ、京都市における地域と連携した先進的な街路樹政策、さらには街路樹がもたらす生物多様性や豊かな都市環境への貢献について、最新の知見と具体的なアプローチを学びます。都市樹木を健全に育み、安全で快適な街並みを未来へつなぐために、行政・事業者・樹木医・市民がどのように協議し、持続可能な維持管理と価値向上に取り組むべきか。多様な視点からこれからの街路樹と都市緑化のあり方を深く模索します。

開催日 令和8年10月8日(木)

時間 13:30～16:45
(受付開始13:00～)

場所 大阪歴史博物館4階講堂
(大阪市中央区大手前4-1-32)

アクセス 地下鉄谷町線・中央線
谷町四丁目駅9番出口前

共催 特定非営利活動法人 おおさか緑と樹木の診断協会
一般社団法人 日本樹木医会大阪府支部
一般社団法人 街路樹・都市樹木診断協会関西支部

参加費 無料

申込方法 以下URLより申込みの上会場にお越しください。(定員250名)

<https://kokc.jp/e/57f720810027a12342c0fbcf3090e6c4/>



開催日	令和 8 年 10 月 8 日（木）		
場 所	大阪歴史博物館 4 階講堂（大阪市中央区大手前 4-1-32）		
研修 プログラム	主催者挨拶	特定非営利活動法人おおさか緑と樹木の診断協会 理事長 おおつきのりあき 大槻 憲章	
	趣旨説明		
	○道路空間へのグリーンインフラの推進 ～道路緑化の活用による持続的で快適な都市・生活空間の形成に向けて～		
	講師	ながはま ようすけ 長濱 庸介（国土交通省国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路環境研究室 主任研究官）	
	○新たなみどりの基本計画と街路樹の未来 ―京都市のみどりをつなぐ―		
	講師	すぎもと なおや 杉本 尚也 （京都市 建設局みどり政策推進室 緑化推進係長）	
	○都市の緑・街路樹と生物多様性		
	講師	ふくい わたる 福井 亘 （京都府立大学大学院 ランドスケープ学研究室 教授）	
トークセッション /質疑応答	講演頂いた先生の皆様にパネリストになって頂き、皆様からの質問を 交えながらトークセッションを開催します。		
閉会挨拶	一般社団法人 日本樹木医会大阪府支部長 にしつぐれいじ 西胤 玲仁		
交流会	講師の先生方を交え、交流会を行います。 （予定） 17：00～19：00 （参加費）4,200 円 ※当日、会場にてご案内させていただきます。		

【共催】: NPO 法人おおさか緑と樹木の診断協会、(一社)日本樹木医会大阪府支部、
(一社)街路樹・都市樹木診断協会関西支部

【協力】: (一社)日本樹木医会、(一社)日本樹木医会近畿地区協議会

【後援】: 大阪府、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部、
(一財)日本緑化センター、(一社)公園管理運営士会西日本支部
(一財)日本造園修景協会阪奈和支部、NPO 法人国際造園研究センター
阪神造園建設業協同組合、

講師紹介

ながはまようすけ

長濱庸介

国土交通省 国土技術政策総合研究所

道路交通研究部 道路環境研究室 主任研究官

国土交通省が2026年1月に策定した「グリーンインフラ推進戦略 2030」では、「グリーンインフラの活用が当たり前の社会」の実現を図り、2050 年に向けて「自然共生社会」の実現を目指すことが示されています。これらの実現に向けた取り組みの一つとして、道路緑化の多様な機能(景観向上機能、緑陰形成機能、防災機能など)を適切に発揮させ持続的で快適な都市・生活空間の形成に取り組むことが重要です。本講演では、道路空間におけるグリーンインフラの取組事例を交えながら、道路緑化のさらなる活用に向けたポイント等をご紹介します。



すぎもとなおや

杉本尚也

京都市 建設局 みどり政策推進室 緑化推進係長

京都市では、2026 年4月に「京都市みどりの基本計画 2026」を策定し、千年先を見据えた新たな「みどり」のあり方を示しました。京都市の街路樹が果たしてきた景観・環境・まちづくりの役割と今後のあり方をはじめ、雨庭などのグリーンインフラや生物多様性との関わりについて見つめ直します。みどりを「守る・育てる」だけでなく「つなぐ」という視点から、これまでに得た現場での教訓を交えつつ、これからの造園人に求められる役割と、次世代へ引き継ぐ都市のみどりについて皆さんとともに考えます。



ふく いわたる

福井 亘

京都府立大学大学院 ランドスケープ学研究室 教授

都市の緑には公園やオープンスペース、都市河川など様々な空間があります。中でも私たちが目にする緑や街路樹は、都市の緑化に欠かせない存在です。現在では、植栽して時間のたった樹木は老木化し、危険な存在といった側面も見られます。しかし、都市にとって緑、街路樹は都市の美観だけではなく、都市に潤いを与え、環境や心身の改善など様々な効用が見られます。では、生き物にとってはどうでしょうか。昆虫類や鳥類など、都市の生物多様性にとって緑や街路樹の存在は、重要な要因を提供しています。本講演では、都市の緑と街路樹、そして生きものの生物多様性について考えたいと思います。

